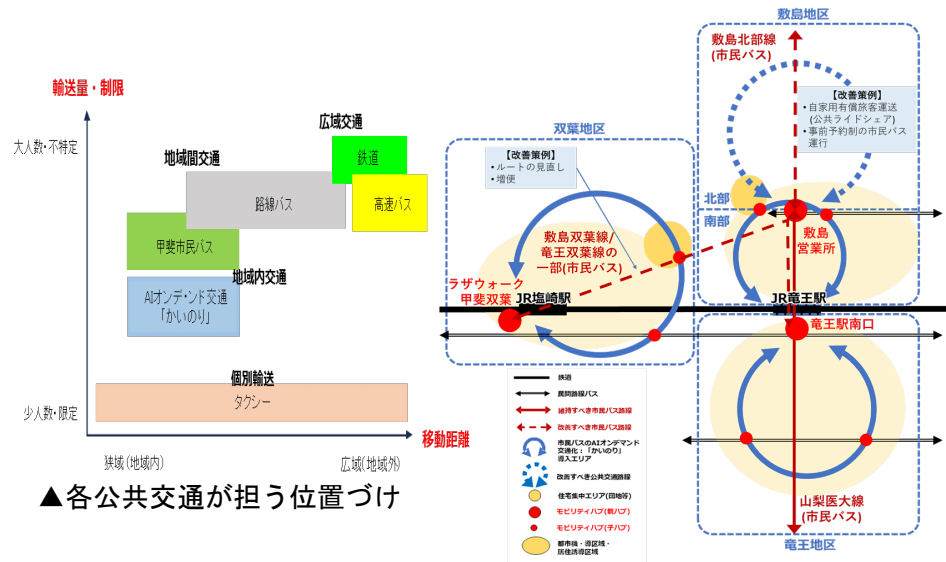


4 地域公共交通の役割と位置づけ

各公共交通が連携した公共交通ネットワークの形成を目指します。

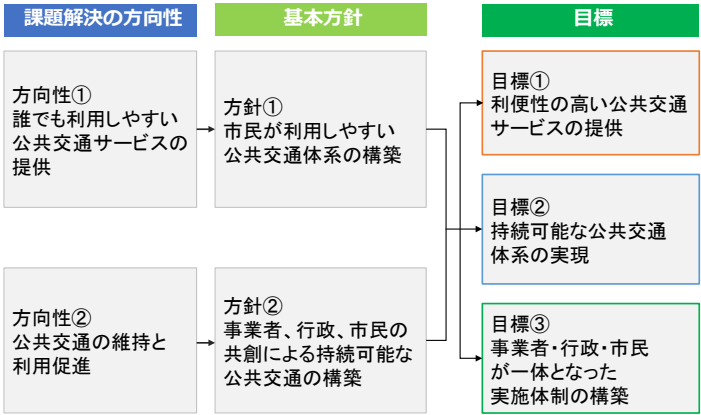


▲各公共交通が担う位置づけ

▲地域公共交通の将来像

5 基本方針・目標

基本方針及び目標を定めて課題解決に取り組みます。



▲課題解決の方向性・基本方針・目標

6 目標・評価指標

目標を達成するため各事業に取り組みます。また、事業の達成状況进行评估するための指標を設定します。

目標① 利便性の高い公共交通サービスの提供

ニーズに応じた公共交通サービスの提供		指標	現状値	目標値
カバリー率 交通の 地域公共 利用の 数	(1) 持続可能な公共交通ネットワークの再編	地域公共交通の人口カバー率	73.1%	90%以上
	(2) 近隣自治体、県との連携	甲斐市民バスの利用者数	30,739人	40,000人以上
	(3) 地域輸送資源との連携	JR電王駅、塩崎駅の乗車人員	1,211,800人	現状値以上
	(4) 対話とデータに基づいた見直し	市内を運行する路線バスの利用者数	1,347,102人	

目標② 持続可能な公共交通体系の実現

ゼロカーボンシティへの貢献		指標	現状値	目標値
収支率 事業	(1) EV車両の導入	甲斐市民バス事業収支率	15.0%	15.9%以上
	デジタル技術を活用した公共交通サービスの導入	甲斐市民バス応援事業への連携事業者数	10	15以上
連携事業者数	(1) AIオンデマンド交通「かいのり」の導入	甲斐市民バス等への広告掲載事業者数	0	5以上
	(2) 自動運転移動サービスの社会実装・事業化			
	(3) MaaSの導入検討			

目標③ 事業者・行政・市民が一体となった実施体制の構築

利用促進策の実施		指標	現状値	目標値
事業者・行政・市民が 連携・協働する 取り組み数	(1) イベント・キャンペーンの実施	地域公共交通の利用促進に向けたイベントやキャンペーンの実施回数	0	5以上
	(2) 広報・周知活動の強化			
	(3) モビリティマネジメントの検討、実施			
財源の確保		地域が担い手となる移動サービスの導入地域数	0	1以上
	(1) 料金体系の見直し			
	(2) 新たな収入の確保			